

平成18年度 第4回花見川区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日時 平成19年2月23日(金) 午後2時00分～午後4時20分

場所 花見川区役所2階講堂

出席委員数 26名

欠席委員数 7名

事務局 11名

【1】次第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 報告事項
- 4 議題(1)地域福祉パイロット事業について
(2)平成19年度推進協について
(3)その他

【2】議事の概要

(1)地域福祉パイロット事業について

7地区部会の部会長から資料に基づきパイロット事業の完了報告と今後予定されているパイロット事業の事業説明があった。

(2)平成19年度推進協について

事務局より平成19年度推進協についての説明があった。

(3)その他

事務局より広報紙作成についての説明があった。

【3】議事要旨

委員定数33名のうち、26名出席、7名欠席を確認し開会した。

秋谷補佐の司会の下、配布資料の確認後、議題に入る前に事務局から花見川区で申請のあった4件のパイロット事業の進捗状況などを「報告事項」として説明した。

議題(1)

地域福祉パイロット事業について

7地区部会が、資料1に沿って13事業のパイロット事業について報告と事業説明をした。

委員から、206地区部会の「高齢者対象リズム体操講座」について報告

また「三世代を絆で結ぶ集い」について事業説明

委員から、朝日ヶ丘地区部会の「子供からお年寄りまで物づくりでふれあう事業」について報告

委員から、検見川地区部会の「健康と地域の安全づくり」について報告

委員から、こてはし台地区部会の「第1回社協まつり」について報告

また「健康ウォークとおしゃべり昼食会」について事業説明

委員から、花園地区部会の「災害弱者を守る地域の防災意識高揚活動」について事業説明

委員から、花見川第2地区部会の「高齢者の健康増進事業」について報告

副委員長から、花見川地区部会の「世代間の交流促進と地域活性化活動」、「子供（小学生）の防犯、防災教育と世代間交流の促進」、「介護予防活動の推進」、「四季の花壇と菜園作りを通じて栽培方法の普及と住民相互の互助精神の向上を図る」及び「高齢者の健康づくりと相互扶助の増進」について報告

< 質疑応答 >

委員長 : 地区部会事業は、全体で活動を進めたほうがいいのか、それとも部分的に小さい単位で活動を進めたほうが人の集まりが良いのか。

委員 : 人集めは、一括で行った方がよいと思う。
しかし、大勢の人達が使える場所を探すのに苦労する。
行政には学校等への働きかけをお願いしたい。

委員 : 花見川地区部会の事業内容を聞いて、きめ細やかな活動が、大事だと思った。地域内を把握し、地域に即した活動を起こす事が大事だと思った。

副委員長 : 高齢者が参加しやすく、参加率を良くするためには、狭い範囲で小さい単位で行った方がよいと思う。ただ、事業のテーマや内容、地域によって変わってくると思う。

委員 : パイロット事業は、1事業に10万円を補助されるものなのか。
1部会に10万円を限度ではなかったのか。
それは要綱上に記されていることなのか。

委員 : 1回目の申請は、1地区部会に1事業10万円の限度額であったが、予算に残額があった場合、2回目以降の申請は、複数事業を申請していいことになっていないはず。

事務局 : 6区全体で600万円の予算があった。1部会10万円の予算であったが、1回目終了後に残額が出たため、2回目以降は要綱どおり複数事業の申請を受け付けた経緯がある。
来年度については、今年度と同額の予算を獲得するのは難しいと思う。ある程度予算は減ると思うが、予算獲得はできると考えている。
来年度もパイロット事業を実施したいと考えている。今年度申請していな

い地区部会で良い事業案があれば、是非来年度申請して欲しい。

委員 : 今年度パイロット事業を行った地区部会に来年度以降も継続していくのか、またパイロット事業後の地域内での波及効果について伺いたい。

また来年度は、18年度と同じ内容でパイロット事業申請できるのか

事務局 : パイロット事業は地区内で先進的模範的な事業という観点から、18年度と全く同内容での申請は難しいと考える。

委員 : 若者が夜捨てた公園のゴミを朝のラジオ体操時に拾い、美化活動にもつなげることができた。

委員 : 社協祭りは大変好評であったので、来年度は内容を変えて続けていくつもりでいる。

委員 : 同じ事業を続けるつもりはなかった。10万円は特別財源として考えていた。

現在あるふれあい喫茶を活かし、経費が掛からないように老若男女が参加できるものを作りたい。

副委員長 : 波及効果としては、地区部会内のパイロット未実施地域も来年度パイロット事業を実施したいという声が出てきている。

委員 : 地区部会内でも社協活動について再度考えるきっかけになった。

委員 : 来年度も続けていきたい。

議題(2)

平成19年度推進協について

事務局より、平成19年度は、地域福祉計画の理念をどう広めていくのかを話し合い、考えていきたいと説明した。

また、19年度の委員の選任について説明した。現在の委員構成を基本に考えていきたい。団体・組織等には、後日改めて、推薦依頼をする。公募委員には、後日就任依頼文書により参加の意向を確認する。

議題(3)

その他

事務局より、花見川区地域福祉計画推進協だよりを作成し、町内自治会・公共機関を通じ、3月末以降広報していくと説明した。

<意見>

委員 : 来年度以降には、地区部会以外の地域活動にも目を向けるような推進協にしてほしい。

委員 : 地域福祉は金がないところから地域全体で福祉を考え、労力を考え、時間を掛けて練り、地域全体でまとまって進めるもの。パイロットが予算を獲得するた

めに実施しているようにみえたのが非常に残念だった。

委員：地域密着の福祉活動を進めるために活動拠点が欲しい。

学校の空き教室など利用できないか、教育委員会や地域振興課と行政同士で連携をとって欲しい。

委員長：教育委員会の方針もあって、なかなか空き教室の利用は難しいと思う。しかし、時間は掛かると思うが、空き教室は有効に使えるように交渉していきたいと考えている。

また、来年度もこの雰囲気で行きたいので、委員の方々にはもう1期は続けてもらいたいと思う。

最後に委員長・副委員長から18年度区推進協閉会にあたり閉会挨拶をし、午後4時20分花見川区地域福祉計画推進協議会は閉会した。